

1

NEWS

栽培方法を学ぶ 大豆・じゅうねん栽培者研修会

大豆・じゅうねん栽培者研修会は八月五日、村交流施設ほっとはうす・さめがわなどで行われました。

研修会には、今年度大豆、じゅうねんを栽培しているお年寄りなど約六十人が参加。蛭田吉郎さん（渡瀬字田尻）、岡部照夫さん（渡瀬字青生野）の大豆栽培ほ場で現地研修を行った後、ほっとはうす・さめがわに会場を移して研修を行いました。

研修会では、大楽村長の講話

の後、福島県南農林事務所農業普及部の井出主査による高品質な大豆を収穫するための栽培技術の指導と特産さめがわ合同会社の関根政雄代表社員からじゅうねんの栽培技術について説明が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、ふれあい昼食会では、村内の食材をふんだんに使った弁当を味わいながら、栽培技術の向上に意見を交わしていました。



現地研修会の様子

2

NEWS

村内で緑地工学実習 東京農業大学短期大学部環境緑地学科の学生



木柵を設置する学生

東京農業大学短期大学部環境緑地学科の緑地工学実習は八月十七日から二十三日までの七日間、山王の里を拠点に村内で行われました。

今年で三年目となる実習には、同学科の学生三十五人が参加。十七日から二十日までと、二十日から二十三日までの二グループに分かれての実習となりました。

前半のグループは、村農村体験交流施設「山王の里」周辺の整備と村が整備を行っている館山公園で活動が行われました。

作業は、「山王の里」に設置してあるフェンスを撤去し、実習で伐採した木材を使い、木柵を設置しました。館山公園では、さまざまな生き物が観察できるようにとビオトープの整備を行いました。後半のグループは、前半のグループに引き続き、館山公園内でビオトープ整備に汗を流しました。

期間中、地元住民が指導を行い、また、実習三日目の夜には、住民との交流会が開かれ、バーベキューを楽しみながら交流を深めました。

3

NEWS

いつまでもお元気で 関根ミツさん（荻ノ沢）に知事賀寿



百歳を迎えられた関根さん

八月二十一日で満百歳を迎えた関根ミツさん（赤坂西野字荻ノ沢）の知事賀寿贈呈式は、特

別養護老人ホームさめがわで行われました。

式では、二瓶弘県南保健福祉事務所副所長から知事賀寿と記念品の木杯が関根さんに手渡されました。

また、村と村老人クラブ連合会からも祝い金や記念品が贈られ、長寿を祝福しました。

関根さんの長生きの秘訣は、「好き嫌いをせず、よく食べること」だそうです。

4

NEWS

中野Aが熱戦制す 村老人クラブ連合会ゲートボール大会



熱戦が繰り上げられた大会

「第二十八回鮫川村老人クラブ連合会ゲートボール大会」は八月十日、村青少年広場で開かれました。

七地区の老人クラブから合わせて十五チームが出場。予選リーグ戦を勝ち抜いた六チームが決勝トーナメントに進出し、見事、中野Aチームが熱戦を制しました。

成績は次のとおりです。

▼優勝Ⅱ中野A ▼準優勝Ⅱ青生野 ▼三位Ⅱ東石B

5

NEWS

バレーボールで親睦深める 村バレーボール交流親善大会



競技を楽しむ参加者

村バレーボール協会（坂本京子会長）主催の第七回鮫川村バレーボール交流親善大会は八月二十二日、村農業者トレーニングセンターで行われました。

大会には、鮫川スポーツ少年団バレーボール部や中学生、一般など、バレーボールチーム十三チームが出場しました。

参加者は、競技を通して技術を磨くとともに、親睦を深めていました。

6

NEWS

教育を考える 村民こぞって教育を考える会



学校長による基調報告の様子

村教育委員会ほか三団体主催の「村民こぞって教育を考える会」は、六月二十五日から七月二十日までの期間、村内七地区で開催されました。

考える会では、図書館などで本の読み聞かせをしているボランティアサークル「おはなしポケット」による読み聞かせや小・中学校長による基調報告、また、家庭学習や学習塾の話題など、それぞれの地域で教育について話し合いが行われました。